

「全鍍連」 2020年 8月号 いきいき地域

埼玉県鍍金工業組合 吉野 正洋 (吉野電化工業(株) 専務取締役)

「自己研鑽と教育」



新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に様々な影響を与えています。経済活動に対してはもちろんですが、生活様式やビジネスモデルなどがガラッと様変わりしてしまいそうです。特に日本では、街中を歩く時も、電車に乗る時もマスクをしていないだけで、不審者扱いされる状況になっています。(昨日 久しぶりに電車に乗ったところ見渡す限りの人、全員がしっかりマスクをつけていて本当に驚きました！)

大人の世界の状況は我々自身が良くわかっていますが、子供の世界でも学校に登校できない、塾に通えない、友達と遊べないなど甚大な影響が広がっています。私自身も子を持つ親として、子供の教育が遅れてしまうのではないかと心配になることがありましたが、意外にも子供たちは自分から進んで勉強しており、要所で先生方の指導もありますが、カリキュラムに大きな遅れはないように見えます。子供たち自身も、この状況を楽しむように積極的に、新しい取り組み、例えばオンライン授業などを受けていました。

子供たちが家で勉強をするようになり、またGWで私自身も家にいると、子供たちが勉強している姿を毎日見るようになります。そうした結果、最近自分自身が全然勉強をしてないことに気が付いてしまいました。(今までもうすず気づいてはいたのですが、目を瞑っていました。) 日々仕事はしているけど、果たして自分自身が成長しているのか？ 期末テストが無く、自分自身の進捗を数値化できない状況でどうやって自分自身の成長を実感すればよいのか？ もちろん、日々の仕事で新たな気付きや学びはありますが、それは人生経験を積んだというだけで、RPGの世界に例えると、ある一定のレベルに達してしまったら、そこからはなかなかレベルが上がらないような状態になっているのではないかと。

この不安な気持ちは、意外にも自分自身を変えるきっかけになり、子供の勉強する姿を見て自分自身も勉強をするようになりました。(時間は短く、毎日ではありませんが、確実に増えています) いやいや勉強をするのではなく、義務感？ や焦燥感？ といったものに突き動かされながら、最近ではやっと少しの達成感も得られるようになってきています。そうすると、次は子供たちや妻も私の勉強内容に興味を持ち始め、プラスの良いサイクルが家庭内で回り始めています。

さて、話を従業員教育に変えたいと思います。会社にとって、特に少数精鋭で大企業に挑んでいる中小企業にとって人材は一人一人が貴重な戦力であり資産です。この一人一人の能力を高めるためにも従業員教育は大切と思っており、色々な教育の仕組みを作ったり、機会をつくって継続して教育をしてきたつもりでしたが、その効果を聞かれると自信をもって答えられません。なぜなのか？ まだよくわかりませんが、最近では、教育は受ける方と、行う方の両輪がしっかりと回らな

いと目的の効果が得られないと感じ始めています。（あたりまえといえば当たり前ですが、、、）どうやってこの両輪を回していけばよいのか？どう教育の意味を腹落ちさせるのか、まだまだ未熟な私には解が出せませんが、とりあえずやれることから、自分自身から研鑽を積み上げていこうと思っています。

教育に関して悩みをお持ちの方は、ぜひ悩みを共有しながらともに考えていきましょう。そして、すでに解決策をお持ちの方はぜひご教授ください。